



ID: 1439

科目名	障害者福祉論【26年度生用】			コード	
英語表記	Person with disability and social welfare				
担当教員名	梅木 幹司			年度	平成26年度
基準年次	1年次	開講期	前期		単位数
授業形態	講義	授業形式			履修形態
授業概要					
本講義では、障害の概念と障害者の生活実態を捉え、必要な支援とは何かについて考察する。そこで、障害者福祉に関わる政策、法律、制度についての理解と知識を深め、それらを活用する専門職の役割やあり方について検討し考察する。「障害者を取り巻く社会情勢」を中心に特に障害者総合支援法の制度理解には特に重点を置く。社会福祉士国家試験においては「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」である。					
到達目標					
・障害の概念について理解する。・障害者福祉の歴史および障害者の権利について理解する。・障害者の生活実態とそれを取り巻く社会情勢について理解する。・障害者福祉政策および制度またはそれらの動向や専門職の役割について理解する。					
授業計画					
第1回	オリエンテーション ～授業のねらいと「障害」について考える～				
第2回	障害の概念 ～国際障害分類、国際生活機能分類を中心に～				
第3回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢 ～障害者処遇の歴史的変遷を通じて～				
第4回	障害者福祉の発展過程 ～制度的変遷と障害者基本法の理念と概要～				
第5回	身体障害者福祉について ～身体障害者福祉法を中心に～				
第6回	知的障害者福祉と発達障害者支援 ～知的障害者福祉法・発達障害者支援法を中心に～				
第7回	精神保健福祉について ～精神保健福祉法・医療観察法を中心に～				
第8回	障害者のアクセスビリティについて ～バリアフリー新法を中心に～				
第9回	障害者の就労について ～障害者の雇用の促進等に関する法律と就労支援～				
第10回	障害者総合支援法① ～法の目的と概要について～				
第11回	障害者総合支援法② ～法における組織および団体の役割と実際～				
第12回	障害者総合支援法③ ～法における専門職の役割と実際～				
第13回	障害者総合支援法④ ～法における相談支援事業所の役割と実際～				
第14回	障害者総合支援法⑤ ～法における多職種連携とネットワーキング～				
第15回	障害者虐待防止法と障害者福祉論まとめの講義				
評価方法と基準			評価項目と割合(%)		
出席40%、試験40%、レポートなどの提出物10%、受講態度など10%において総合的に評価を行います。なお、試験については学則に定める出席回数を満たさないものは試験を受けられないので注意すること。また、試験は持ち込み等不可です。			出席	授業態度	レポート
			期末試験	その他	
			40%	10%	40%
授業外学習			テキスト、教材		
・基本的にはないが、レポートを課す場合もある			新・社会福祉士養成講座第14巻「障害者に対する支援と障害者自立支援制度(第4版)」中央法規出版その他		
参考書			受講生へのメッセージ		
・参考書・文献は適宜紹介し、レジュメ・資料等を配布する。・福祉六法			社会福祉士指定科目であるため、国家試験受験を希望する学生は必ず履修すること。障害者総合支援法理解においては、暗記力が必然である。また、社会福祉士実習において座学とのすり合わせを期待している。		
キーワード					
障害者福祉、障害者総合支援法、就労支援、ネットワーキング、権利擁護					